

よしかわ

News from Yoshikawa City Council

議会だより

2024.2

No.200

議会だよりが
スマートフォンでも読めます

マチイロ

検 索



発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501
吉川市きよみ野一丁目1番地
TEL.048 (982) 9421
(議会事務局 直通)
FAX.048 (981) 5392
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>

目次CONTENTS

定例会概要	②
委員会審査概要	③
答えて市長！一般質問	④
委員会提出議案	⑧
行政視察を行いました	⑨
審議結果	⑩

▲1月7日に行われた消防出初式
(関連記事は12ページ)

12月定例会 概要

全25議案可決・同意

令和5年12月定例会は、12月1日から12月15日までの15日間の開催となりました。

今回の定例会では、令和5年度吉川市一般会計補正予算(第5号)などの市長提出議案25件、(2ページ)、委員会提出議案「吉川市議会委員会条例の一部を改正する条例」のほか、1件の意見書などを審議し、議決しました。(審議結果は10〜11ページ)

その他、16名の議員が行った「市政に対する一般質問」(4〜8ページ)、特集ページ(9ページ)では10月に実施した3つの常任委員会合同の行政視察についてお伝えします。



◆令和5年度吉川市一般会計補正予算(第5号)

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億3937万円8000円を増額し、総額は271億672万5000円となりました。

・商業活性化推進事業

761万8000円

原油等価格高騰の影響を受けている市内中小企業及び個人事業主に対して、事業規模や影響額に応じて支給する支援金の申請件数が上限に達したため、増額します。

・医療費支給事業

5841万2000円

子ども医療給付費及びひとり親家庭等医療給付費について、季節性感染症の流行や新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う医療費が増加したため、増額します。

・自立支援給付事業

1億2876万円

介護訓練等給付費について、放課後デイサービスや共同生活援助(グループホーム)の利用者が増加したため、増額します。



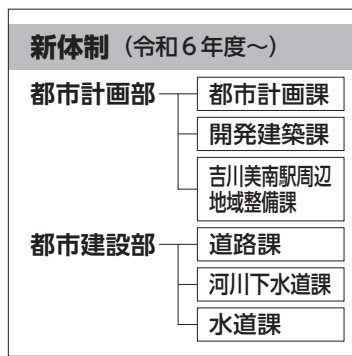
◆各特別会計補正予算

介護保険特別会計において介護報酬の改定に伴うシステム改修委託料の増額をするなど、各特別会計の補正予算が提案され、すべて可決しました。

主な議案のあらまし

◆吉川市部設置条例の一部を改正する条例

第6次吉川市総合振興計画の推進に向けて、都市整備部門の組織体制を整備します。



◆市長及び副市長の給与等に関する条例及び吉川市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

◆議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

市長、副市長、教育長と市議会議員の期末手当について、支給月数を0・1カ月増やす改定を行います。

◆吉川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

職員の給料、期末手当及び勤勉手当の額を増やす改定をするとともに、管理職員特別勤務手当の新設及び職員所有の住宅にかかる住居手当を廃止します。

◆吉川市会計年度任用職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例

国の法令改正に伴い、勤勉手当を支給します。

追加議案

◆吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
出産被保険者の産前産後期間における国民健康保険税の軽減措置を行います。

◆令和5年度吉川市一般会計補正予算(第6号)

物価高騰による負担を軽減するため、住民税非課税世帯に対して1世帯あたり7万円の給付金を支給します。

委員会審査概要

総務水道常任委員会

◆吉川市部設置条例の一部を改正する条例

公共交通施策の所管は都市建設部に移管されると認識して間違いないか。

都市計画課の都市計画担当に移管予定である。

賛成全員で可決

◆吉川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

管理職員特別勤務手当が、午前0時から午前5時までの時間の理由は。

国家公務員における管理職特別勤務手当の取り扱いと同様に規定したものである。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算

バス利用促進支援金が減額になっている。利用率は14.6%だったが、利用率向上の

ための取り組みは行ったのか。

バスチケット発送前に教育委員会の「C4thホーム&スツール」を活用し、事前周知を行うとともに、市のホームページへの掲載、バス車内や公共施設等への掲示を行った。

賛成全員で可決



委員会報告を行う戸田委員長

文教福祉常任委員会

◆一般会計補正予算

除細動器（AED）の賃貸借について、現在の台数と管理方法はどのようになっているのか。また、使用実績は。

現在、43カ所に46台を設置しているが、日常管理は各施設が行っている。令和5年の使用実績としては、2月に小学校2校で使用し、うち1校では電気ショック不要となった。また、5月にも小学校1校で使用したとの報告があった。

賛成全員で可決

◆後期高齢者医療特別会計補正予算

団塊の世代の方が75歳に達し、後期高齢者医療特別会計の予算も膨らんでいる実態の中、現状はどうか。

後期高齢者医療の被保険者数については、令和5年4月1日現在の被保険者数は8986人と対前年同日比で673人増えており、団塊の世代の方の移行期であることから、今後数年急激な増加が見込まれる。また、それに伴

い、被保険者からのご相談や事務処理等も増えていく状況ではあるが、今後も一人ひとりに丁寧な対応を行っていく。

賛成全員で可決



委員会報告を行う吉川委員長

建設生活常任委員会

◆吉川市自転車駐車場条例を廃止する条例

平成15年に自転車駐車場整備センターから市に譲渡された自転車駐車場は、施設整備にかかった費用の償還がすべて終わっていると認識してよいか。また、今回自転車駐車場整備センターに管理運営を移行する際も同様の考え方でよいか。

自転車駐車場整備センターがすべての費用の償還を終え

た後に引き継いでいる。今回も、同様のスキームで依頼するため、市の負担はない。

賛成全員で可決

◆市道の路線廃止及び認定について

県道越谷野田線の市への移管について、実際は10年後くらいと聞いていたが、10年も経つと道路が傷んでくる。特に北側の歩道が傷んでいると思うが、すべて補修して移管されるという認識でよいか。

この県道に限らず、県から移管される場合は、県と市の職員が立ち会いし、確認した上で傷んだ箇所の補修等を行っている。越谷野田線も同様に実施していただく。

賛成全員で可決



委員会報告を行う稲葉委員長

一般質問

答えて市長！ 一般質問

一般質問とは、議員が広く自治体の事務一般を対象として、執行の状況、将来の方針を執行機関である市に問いただすものです。質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

今回の定例会では、12月13日(水)、14日(木)、15日(金)の3日間にわたり16名の議員が市政全般について、市の見解をただしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、2月上旬となる予定です。



危険箇所の情報提供と 市の対応について

菊名 克典



問 道路・水路・空き家で市が危険箇所として認識している場所の管理状況。情報提供があった場合はどのような対応をしているか。

答 道路と市街化区域の水路における危険箇所の管理状況については、市職員による道路パトロールや市民からの情報提供により危険箇所を把握、空き家については市民からの情報提供などから把握をし、データとして管理をしている。市民などから情報提供があった場合は、市職員が現地を確認し、注意喚起などを含め対策を講じた上で、順次補修などに取り組んでいる。新たに発生した空き家については所有者の調査を行った上で、管理が行き届いていないものについては所有者に連絡をし、適正に管理していただくよう通知などを行っている。

問 危険箇所の情報提供に関する協定を締結した事業者は現在何社か。また、その内容は。

答 市街化区域の水路や空き家の情報提供に関する協定はこれまで締結してないが、道路については平成10年度から現在の日本郵便株式会社と道路の異常に関する協定を締結し、業務に支障のない範囲で情報提供をしていただいている。

持続可能な公共交通を みんなでの協力が必要

降旗 聡



問 市では、持続可能な公共交通をめざして、地域公共交通計画を策定することとしている。市民・事業者・行政等で「地域公共交通協議会」が設置されたが、市民や事業者に期待すること。また、市としてのイメージについて。

答 計画策定にあたっては、市民の皆さまには地域旅客輸送サービスを利用するという受け身の立場だけではなく、地域の関係者の一員として主体的な観点から、また、公共交通事業者には、提供するサービスの質の向上等に務める立場から検討に参加していただいた。

「市としてのイメージ」は、基本には、国が定める基本方針に基づき、協議会で協議しながら上位計画となる「第6次吉川市総合振興計画」のほか、関連する計画と整合性を図り、地域にとって望ましい持続可能な公共交通サービスの提供をめざし、計画を策定したい。

また、「持続可能な公共交通の充実」にむけた施策の展開については、行政機関や公共交通事業者等、市民、公共交通利用者が、それぞれ役割を果たしつつ、みんなで協力することが必要と考えている。

生活道路の維持補修と 市内水害対策について

赤出川 義夫



問 他自治体での道路補修等において、自治会に対して材料や建設機械のリース費用を負担し、生活道路の整備を行っている自治体がある。市も厳しい財政状況のなか、福祉予算やインフラ整備予算等の増加が今後も見込まれる中でのこの取り組みは、維持管理費の削減、地域住民が地域の問題を解決する力を養うことに有効と考えるが市の見解は。

答 このような取り組みは建設業者が行う工事と比較し、費用抑制と自治会の地域コミュニティが深まり活性化する効果が得られる。道路などのインフラ整備工事については、市民の生活を支える基盤として施設の安全性・利便性が求められ、工事を実施するうえで一般交通に対する事故など安全対策に対する課題など、他の自治体の取り組みを研究する。

問 国から中川・綾瀬川河川整備計画が公表されたが、この計画で市の治水対策メリットは。

答 堤防の強化や新たな放水路が計画され、河川への放水量が増加することで堤防決壊など危険性の低下、ポンプ増強が可能になり内水被害軽減などにつながるものとする。

部活動地域移行と住民自治

林 美希



問 市内中学校部活動の地域連携・地域移行の進捗と来年度の予定は。協議の場は教育観のアップデートがされた人材が参画できるよう、公の場で行っていただきたいがいかがか。

答 学校へ国・県の方針を伝え、庁内関係課やスポーツ団体関係者等と情報交換を行ってきた。令和5年度は全校を訪問し、校長への聞き取り、部活動の視察と現状や課題の把握に努めた。令和6年度は生徒や保護者にアンケート調査を行う予定。精査していく中で協議会等の段階へ進めたい。

◆住民自治について

問 個別具体的な課題解決への伴走や人材発掘などの柔軟な活動ができるよう、「地域の課題を解決する勉強会」が行政と多様な参加者が参画できる「中間支援組織」を目指せるよう市として支援していただきたいがいかがか。

答 今の勉強会をさらにバージョンアップ・パワーアップすることで中間支援の形になり得るのであれば、十分検討していくべきことのひとつではないかと前向きに考える。

書かない窓口等の 推進について

中嶋 通治



問 市役所窓口で、来庁された方が申請書に自動で印字できる機器を操作している光景を見ました。今回の試行的な使用で、どのようなことが分かったのか内容等をお聞かせください。

答 9月12日から9月29日までの期間に32件の利用がありました。画面をタッチして、手順に沿って操作すると、申請書類が印刷されます。手書きの必要がなくなりますが、機器の概要や操作説明等に時間がかかりました。

問 「書かない」「待たない」「行かない」の3ない窓口の今後の見込みはいかがですか。

答 現在コンビニで各種証明書をご自身で取得できるマルチコピー機の庁舎内への設置を検討しています。見込まれる効果としては、申請書を書かず、マイナンバーカードをかざすことで利用できる「書かない」こと、窓口で順番を待たずにご自身で気軽に証明書を取得できる「待たない」こと、さらに通信障害等で基幹システムが利用不可能な場合のバックアップシステム機能により、市民の利便性向上につなげたいと考えています。また、将来的には口頭のみでの手続きが可能となります。

LINEアプリの導入で 情報発信を

小野 潔



問 越谷市のLINEアプリによる自分に必要なカテゴリーを選べるセグメント配信と、同様なLINEアプリの導入に向けた市の検討状況は。

答 庁内ワーキングチーム会議を設置して、LINEの有する機能、運用の情報を収集している。引き続き検討を進めていく。

問 11月27日、公明党吉川市議団では、市へ「物価高騰対策と経済再生に向けた緊急要望」6テーマ10項目の申し入れをした。政府の補正予算成立を受け、①低所得者対策としての住民税非課税世帯への7万円給付金の基準日とスケジュールは。②生活者支援・事業者支援への重点支援地方交付金の総額とスケジュールは。

答 ①基準日を令和5年12月1日とし、1月下旬支給を目途に準備を進めている。②交付金の総額は約1億1千万円、推奨事業8つのメニューが示されている。調整がつき次第補正予算案を取りまとめ年明けに上程を想定している。

問 いちよう・けやき通り歩道の歪み、段差解消を。歩道内車止めポール反射材の補修も。

答 緊急性を鑑み、歩道もポールも補修を検討する。

美南駅前の総合病院進出 1月下旬に選定委員会で審査

伊藤 正勝



問 東口開発地の商業・業務ゾーン。駅に面したAブロック（1.3ヘクタール）に総合病院進出の動きがあるが、現状の説明を。

答 8月下旬に募集要項を公表。11月下旬に進出希望の事業者を公募。その結果、複数の応募があった。12月下旬に書類審査。1月下旬に選定委員会で二次審査を行い、優先交渉権者を決定していく。隣接のBブロック（3.1ヘクタール）についても応募があった。事業者名等は審査の都合もあり公表できない。

◆旧庁舎跡地の「福祉拠点」計画は

問 進展状況は。その必要性、実現性は。

答 庁内検討委員会や福祉団体説明会での意見を踏まえ基本構想を作成した。その後、基本計画検討委員会を設置し、2回開催。民間企業からの提案やアドバイスも受けた。1月中旬に「基本計画」を策定する。地域コミュニティを支える福祉的な拠点機能が必要との観点から、必要があると認識している。市民の皆さんが活用し、福祉につなげていく、利便性もあり、実現性はあると考えている。

第9期吉川市介護保険 事業計画(案)について

稲垣 茂行



問 計画策定の基本的な考え方及び関係団体や利用者へのヒヤリングは。

答 令和6年度から始まる第9期計画は、今後、一層の高齢化が進むことで発生する変化や課題を捉え、適切に対応していくことで「高齢者の幸福実感実現」を目指す。そのため、市内の65歳以上3,000人を対象に「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施し、また、在宅で要支援・要介護認定を受けている1,500人を対象に「在宅介護実態調査」も実施した。合わせて市内の全介護保険サービス事業所及び複数の関係団体へアンケート調査を実施している。

問 第9期計画におけるフレイル予防の推進、地域型介護予防教室の支援、在宅医療・終末期の理解促進拡充の意図と具体的内容は。

答 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることを目指す「地域包括ケアシステム」の推進に資することを意図している。

具体的には、フレイルチェックやなまらん体操の推進、エンディングノートの普及・啓発等、既存事業を軸に関係機関と連携し、効果的な事業の推進に取り組んでいく。

スポーツ環境の整備の 進捗状況は

稲葉 剛治



問 吉川美南駅東口の多目的広場の利用を想定している団体は。

答 汎用性の高い多目的広場グラウンドとして運用するが、少年サッカーやグラウンドゴルフなどの団体利用も想定している。

問 設備や備品についての考えは。

答 防球ネット、サッカーゴールなどの設置を予定しているが、調整池の上面利用という制約の中で関係各課と調整の上で決定する。

問 この多目的広場の使用開始予定日は。

答 令和7年度のはじめぐらいを予定しているが、調整池の上面利用という制約があるので流動的なところが出てくる可能性はある。

問 総合体育館改修の方向性、周知について。

答 新設から40年が経過し、経年劣化が著しく、外壁改修、防水設備の改修などと合わせ、空調機の設置や音響設備の更新、フットサルの利用が可能となる設備の整備、照明をLED化して環境負荷軽減に取り組む。改修工事で、令和6年7月から令和7年3月まで全館利用停止となるため、ホームページへの掲載、館内への掲示、利用調整会議の場を活用し周知をはかる。

買い物支援と 移動販売について

大泉 日出男



問 現在の市内での移動販売の状況についてどのような状況か。

答 買物が困難な方へ移動販売を既に実施しており大変好評である。今回、新たに来年2月を目途に旭地区から順次、場所や時間を打ち合わせ、覚書を民間事業者と交わしている。

問 今後、買い物支援事業者に対してバックアップをきめ細かく、特に場所選定等の協議は定期的にしていくべきだと思うがどうか。

答 民間業者が主体的に参入をしてきた上で、市として必要に応じてサービス向上の改善に効果的、効率的に取り組んでいく。

◆带状疱疹ワクチン助成について

問 当市において、ワクチン接種助成に関する問い合わせは何件あるか。また、現在の状況と今後の取り組みの検討は。

答 具体的な件数は把握していないが、問い合わせはあると認識している。本ワクチンの副反応のリスクや効果など様々な議論があり、定期予防接種以外の予防接種は任意と考えている。公平、公衆衛生の観点から国での検証を待つ。

保育士の確保のため 近隣市並みの処遇改善を

吉川 敏幸



問 国税庁の令和元年度の調査では、給与所得者の平均年収は436万円であるのに対し、保育士の平均年収は364万円と72万円低く、月当たり6万円低いことになる。つくば市3万円、柏市4万5千円、流山市4万3千円、三郷市4万5千円、八潮市は経験により3万~5万円の補助が毎月出ている。このままでは、保育士を輩出する学校も学生に吉川市を薦めないし、学生もあえて吉川市で保育士になろうとは思わないのではないかと。保育士確保について市の見解を伺う。

答 保育士の給料については、公定価格において適切に対応されるべきものであると認識している。また、こうした制度設計の下で自治体独自の処遇改善が行われると法が予定する国と自治体との費用負担のバランスを損ね、競争が激化し、過大な財政負担を懸念している。県内の他自治体に加えて、東京都や千葉県の支援を受けた自治体と正面から競うようなことは市の子育て施策全体に良い影響は与えないのではないかと考えており、現時点で近隣自治体と同じような市独自の処遇改善を行う考えはない。

多目的トイレに 大人用ベッドの設置を

飯島 正義



問 中央公民館、おあしすは多くの市民が集う施設ですが、多目的トイレに障がい者用の大型ベッドが設置されていません。設置を検討すべきです。また、土曜・日曜日は、せめて市役所内の多目的トイレの大人用ベッドを使用できないかという声も寄せられています。

答 おあしす多目的トイレに大型ベッド設置に向けて必要なスペースの確保と概算費用を算出したところですが、中央公民館についても順次研究していきます。閉庁日の市役所内の多目的トイレの利用については、セキュリティの課題を踏まえて検討していきます。

◆児童館遊戯室への早急なエアコン設置を

問 来年以降も猛暑が予想されるなか、遊戯室のエアコン設置を求めます。児童からは「どうして使えないのですか」との声が寄せられています。

答 総合体育館、小中学校のエアコン設置を先行しておこない、遊戯室のエアコン設置は、方針として決定しています。様々な部門と調整しながら出来るだけ早く設置していきます。

吉川駅北地域の治水対策、 ポンプ増強だけで可能か

遠藤 義法



問 市は吉川駅北側地域の浸水被害軽減策として、流出解析結果から共保雨水ポンプ場のポンプを増設する方針を出しました。しかし、中川への排水量を増やすことができる時期は未定です。貯水池設置の必要はないのか伺います。

答 今後30年間を対象期間として、中川河川整備計画が11月公表されたので、進展があるものと期待しています。ポンプを増強することで現在の4.4トンの排水量を何トン位まで排水可能かは江戸川河川事務所との協議になります。貯水が必要なのかはこれからの判断です。

◆活用しやすい水防センターとするための建設計画を

問 同センターは、吉川で初めての防災拠点となる施設です。日常的に活用できる施設とするための今後の計画は。

答 水防センター整備等検討委員会では、サイクリングの休憩所、減災教育の場、広場の多目的活用、避難所指定をしなくても避難する方への物資備蓄などの意見があり、具体的な検討を進めていきます。

障がいをもっても安心して 暮らせるまちづくりの為に

岩崎 小百合



問 平成30年に策定された「第4次吉川市障がい者計画」。第4章の「基本計画の現状と課題」、市内道路の点字ブロックの設置について今後の取り組みを伺う。

答 歩道の段差解消と併せて点字ブロックの推進を位置付けている。

問 ①吉川美南駅前公園からイオンタウン吉川美南駅東街区へ誘導する点字ブロックが敷設されていない。②吉川駅北口ロータリーから情報サービスセンターコアへ誘導する点字ブロックが途切れている。①②の場所に設置予定はあるか。

答 「高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、必要な箇所に設置を行っている。設置については利用状況を調査し、その上で法律に基づき研究する。

問 市民まつりや、吉川美南駅前公園などのイベント開催時に、道路や通路等の視覚障がい者への配慮はどのようになっているか。

答 主催者に対して、障がい者のみならず、来園者の妨げとならないよう通路の確保等、公園の利用条件を付して利用を許可している。

市営住宅・福祉などに
空き家の活用を



雪田 きよみ

問 高齢・障がい・低所得など、社会的に不利な条件の方々（住宅確保要配慮者）が転居先を探すのが非常に難しい状況にある。大家さんがこれらの条件の方の入居を拒む傾向にあり、賃貸契約を結ぼうにも、民間保証会社の審査が通らない状況がある。居住権を確保するため、空き家を市営住宅に活用していただきたい。

答 第6次総合振興計画で、県や関係機関と連携し公的住宅の供給促進を支援することとしているので、市営住宅への活用は考えていない。高齢者を中心とした方々の住居が社会問題化していることは承知している。国もこの問題を大きな問題ととらえ始めている。国の動向を注視していく。

問 空き家の福祉への活用についての考えは。

答 障がい者の地域での生活を考える検討会議の中で、グループホームに活用できないかとの案が出たことがある。若者支援の在り方検討会議でも活動場所として空き家の活用が考えられないかとの話が出ていたことがある。その際は担当部署につなぐなど、まだ具体的に実現した例はないが、これからも継続していきたい。

開発規制を見直し、活力
ある豊かなまち吉川へ



齋藤 詔治

問 ①吉川市周辺の主要国道や県道の整備が進んでいるが、市内幹線道路の整備並びに新設道路等の実施計画が急務では。②首都圏に位置する広大な水田地帯を水郷の里山の趣に変え、新たな田園環境を構築した農業振興を図っては。③市内調整区域の大部分が青地で、このような規制地域内の宅地、農地等の価格はあまりにも安価。脱炭素社会に向けた太陽光発電、蓄電池施設場への対応等、農地以外への利活用が図れていない。農地法や都市計画法による許認可への規制が厳しく、開発が困難なため農家の資産運用も図れない。農家が安心して農業経営ができるように、諸制度の規制緩和が必要なのは。④市内公園等のベンチやフラワーポット等の設置要望への考えは。

答 ①市内幹線道路の周辺道路整備は進めている。今後も引き続き整備する。②三輪野江地区の吉川農業パーク構想や地域計画を作成の中、ほ場整備や農業振興を検討。③調整区域の活用は基準に合わせ、農業委員会を経て県が許可。諸制度の規制緩和には、様々な支援策をしている。④公園等の利用状況を踏まえ整備している。

◆令和6年4月から
常任委員会の名称と所管が変わります

現在	
名称	所管
総務水道常任委員会	1 一般会計の歳入 2 政策室、総務部、会計課、議会、水道課、工事検査課、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会 3 他の委員会に属さない事項
文教福祉常任委員会	こども福祉部、健康長寿部、教育委員会
建設生活常任委員会	市民生活部、産業振興部、都市整備部、農業委員会



令和6年4月以降	
名称	所管
総務健康常任委員会	1 一般会計の歳入 2 政策室、総務部、健康長寿部、会計課、議会、工事検査課、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会 3 他の委員会に属さない事項
こども教育常任委員会	こども福祉部、教育委員会
建設生活常任委員会	市民生活部、産業振興部、都市計画部、都市建設部（水道事業含む）、農業委員会

委員会提出議案

今回の定例会で「吉川市部設置条例の一部を改正する条例」が可決され、令和6年4月から市の組織の一部が変わります（2ページ参照）。これに伴い、吉川市議会でも常任

委員会の所管と名称を変更することについて協議し、議会運営委員会として「吉川市議会委員会条例の一部を改正する条例」を提案し、議員全員が賛成して可決されました。常任委員会の変更後の名称と所管は、左の表のとおりです。（下線が引かれた箇所が変更になる部分）

特集

3つの常任委員会が
合同で行政視察を行いました

常任委員会は、定例会の開会中は各委員会で議案の審査を行っていますが、閉会中も委員会が所管する事務調査のため必要な活動として行政視察などを行っています。

今回の特集では、10月19日～20日に実施した委員会の合同行政視察の内容をご紹介します。

埼玉県さいたま市
大久保浄水場

(10月19日)

総務水道常任委員会

埼玉県では県内の自治体に安全で良質な水の供給を行っており、吉川市の水道における臭水の比率は98.24%（令和4年）です。

さいたま市の大久保浄水場では、かび臭やトリハロメタンの原因物質を取り除く高度浄水処理施設の整備を進めています。

吉川市では水道料金の見直しも検討されていることから、市の水道事業に関係の深い臭水道事業の運営や整備状況を視察しました。

毎日の生活に欠かせない水の大切さを改めて感じました。



高度浄水処理施設整備工事場所の様子

東京都荒川区
教育における防災部・防災クラブの取組

(10月19日)

文教福祉常任委員会

自然災害発生時に、小中学校の体育館は避難所になります。荒川区では避難所運営では学校のことをよく知っている児童生徒の存在が大きいとの声から、中学校では「防災部」、小学校では「防災クラブ」が創設され、



事業内容の説明を聞く議員

地域の防災活動の活性化につながっています。部活動などでの活動に至る経過や効果、現在の状況などを視察しました。

吉川市でも小学5年生や中学2年生を対象に、自らの安全を確保するための行動ができるよう減災教育の授業が実施されています。

災害発生時にも、慌てず落ち着いた行動が取れるよう日頃からの取り組みが重要です。

静岡県函南町
狩野川塚本地区河川防災ステーション

(10月20日)

建設生活常任委員会

河川防災ステーションは洪水時に

は水防活動を支援し、災害が発生したときには緊急復旧などを迅速に行う基地となります。また、平時にはレクリエーションの場として河川を中心とした文化活動などの拠点としても利用されます。

今回視察した狩野川塚本地区河川防災ステーションには、函南町が整備した水防多目的センターのほか、国の環境整備事業で作られた芝生広場やドッグラン、子どもたちの川遊びやカヌー等の体験を想定した水辺空間がありました。

吉川市でも、江戸川河川防災ステーションの整備が進められており、その完成が待たれます。



河川敷の芝生とドッグラン

12月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長（議決に加わりません）
◎=議案提出者、欠=欠席

	議決結果	自由民主党			市民の会			未来会議			共産		公明		無	無					
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	菊名 克典	中嶋 通治	松崎 誠	岩崎 小百合	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
＜市長提出議案＞																					
吉川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
吉川市空家等対策協議会条例及び吉川市空家等の適正管理等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市自転車駐車場条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
吉川市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市少年センター条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	欠	○	○	○	
吉川市部設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
郵便切手類購入基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長及び副市長の給与等に関する条例及び吉川市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	欠	○	○	○	
吉川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
吉川市会計年度任用職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
市道の路線廃止及び認定について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
人権擁護委員の推薦について	同意	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
令和5年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	

	議決結果	自由民主党				市民の会			未来会議		共産		公明		無	無					
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	菊名 克典	中嶋 通治	松崎 誠	岩崎 小百合	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 さよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
令和5年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
令和5年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
令和5年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
令和5年度吉川市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
令和5年度吉川市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
令和5年度吉川市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
《委員会提出議案》																					
吉川市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	◎	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
《議員提出議案》																					
ガソリン価格の高騰対策として「トリガー条項」の発動を求める意見書(注1)	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	◎	○	×	欠	×	○	○


注1：可否同数のため、地方自治法第116条第1項の規定により議長が議決権を行使しました。

1月臨時会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)
◎=議案提出者、欠=欠席

《市長提出議案》																					
令和5年度吉川市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*会派名の「自由民主党」は「自由民主党吉川市議員団」、「市民の会」は「市民の会・無所属」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」、の略です。「無」は会派に属さないものです。



ホームページ、ぜひご利用ください

市のホームページでは、意見書の全文や本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

吉川市議会

検索

次の定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
	2月26日 本会議 (開会日)	2月27日 休会日 (議案調査日)	2月28日 本会議 (代表質問)	2月29日 休会日 (議案調査日)	3月1日 本会議 (議案審議)	3月2日 休会日
3月3日 休会日	3月4日 本会議 (議案審議)	3月5日 休会日 (議案調査日)	3月6日 委員会 (総務水道・文教福祉)	3月7日 委員会 (総務水道・文教福祉)	3月8日 委員会 (建設生活)	3月9日 休会日
3月10日 休会日	3月11日 委員会 (建設生活)	3月12日 委員会 (請願審査)	3月13日 休会日 (委員長報告作成日)	3月14日 本会議 (委員長報告)	3月15日 休会日	3月16日 休会日
3月17日 休会日	3月18日 本会議 (一般質問)	3月19日 本会議 (一般質問)	3月20日 休会日	3月21日 本会議 (一般質問・閉会日)		

●本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。



会議録の冊子は本会議・委員会 ともに次の場所で閲覧できます

市立図書館、視聴覚ライブラリー、中央公民館図書室、
旭地区センター図書室、議会図書室、市政情報コーナー

編
集
後
記

任期中最後の12月定例会が終わりました。今回の議会だよりは、記念すべき200号です。年4回発行していますので、発行が始まり約50年が経過したことになります。

私たちの任期中は、表紙の写真を広報委員が入れ替わりで撮影を担当したり、物価高騰で紙代や印刷代が上がり、ページを縮減する対応が求められました。皆さんに知っていただきたい必要な情報が掲載できるように紙面づくりに様々な工夫をしてみました。

これまで作成に携わった議員や事務局職員が、少しでもより良いものへとつくり上げてきた議会だよりです。これからも一人でも多くの方にお手に取って読んでいただければ幸いです。

雪田 きよみ

表
紙
の
写
真



能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。1日でも早く心穏やかな日常が過ごせますようお祈り申し上げます。

1月7日に吉川美南駅前公園で「消防出初式」が開催されました。写真は、消防組合の隊員によるヘリコプターや建物の屋上から降下するためのリペリング降下訓練の様子です。

ほかにも、消防団員や少年消防クラブが日頃の成果を披露しました。私たち自身も地震や火災への備えの大切さを感じました。